

平成 24 年度第 3 回鹿児島市交通事業経営審議会 会議概要

○ 日程・場所・出席者

(日 程)平成 25 年 2 月 8 日(火)13:30～15:00

(場 所)市役所別館 4 階第 3 委員会室

(出席者)委員 8 名

(事務局)交通局総合企画課

○ 会議の次第・配付資料

(会次第) (1)鹿児島市交通局の事業概要

(2)平成 24 年度鹿児島市交通事業特別会計の主な取組と収支状況

(3)鹿児島市交通事業経営健全化計画の概要

(4)鹿児島市交通局バス施設建設基本計画について

(配布資料) 資料 1 平成 24 年度事業概要

資料 2 鹿児島市交通事業経営健全化計画

資料 3 鹿児島市交通局バス施設建設基本計画(案)

資料 4 平成 24 年度 鹿児島市交通事業特別会計の主な取り組みと収支状況

(協議の概要)

(1) 鹿児島市交通局の事業概要

	委員の主な意見・質疑等
1	<p>観光バスと貸切バスを合わせて8台所有しているが、今どき民間のバス事業者も貸切バスをやっている。市として貸切バスを所有しておかなければならない理由があるのか、また、それに対する方針みたいなものがあるのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>昔のように、バスガイドが付く観光貸切バスというものはほとんどないが、スポーツ少年団や学校行事等で幅広く利用されており、また、乗車される方の人数に関わりなく1台につき何時間でいくらという形になるため、貸切バス事業も貴重な収入源として考えている。</p>
2	<p>広告の収入が、22年度から23年度にかけて軌道事業も自動車運送事業も少なくなっているが、これは震災の影響によるものか。23年度は新幹線の全線開業効果もあって、鹿児島市内は潤ったのではないかと思うが、どうして広告収入が落ちたのか。23年度にかけて広告収入が落ちたことについてどのように分析されたのか、聞かせて欲しい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>広告収入については、ここ数年の傾向を見ても、バス事業では18年度、電車事業では19年度をピークに減ってきているという状況である。</p> <p>指摘のあった震災の影響による自粛というものは感じないが、やはり経済状況の影響により、民間の企業としても、広告費を少しでも削りたいという面もあるかと思う。また、広告自体も、インターネットの広告を利用するなど多様化している面もあり、交通広告にお金をかけられるか、という判断も働いているのではと考えている。</p> <p>幸い、今年度は若干持ち直す傾向にあり、25年度には広告費が全体的に上がっていくという見方もされているので、このまま広告収入も増えていくのでは、と期待しているところである。</p>

(2)平成 24 年度鹿児島市交通事業特別会計の主な取組と収支状況

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>管理の受委託によって、運行経費の節減を図るということになっているが、実際にどの位の削減になっているのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>直営した場合の経費と比べ、交通局としては、単年度でおよそ8,600万円のメリットがあると考えている。</p> <p>これは初年度の数字であり、委託料については、基本給のベースアップや燃料費精算によって毎年増えていくものと見込まれるため、節減額は、今後5年間では若干減少していくものと思われる。</p>
2	<p>観光電車を利用した時に、どこで切符を買っていいのか案内板も無いし、どういうシステムになっているのかも分かりにくいと感じた。観光電車は、現在はどういう運営状況になっているのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>観光電車は、新幹線の全線開業に合わせて23年の3月から運行を開始したところである。</p> <p>最初はユートラムⅡを用いて運行を行っており、昨年12月1日から「かごでん」での運行を開始したが、「かごでん」の運行を開始する前までは、平均で7人だった乗客数が、「かごでん」になってからは、12月、1月を通して平均で14名くらいに増加している。また、現在の運行は、土日祝日の一日4便となっているが、今後は、状況を見ながら、団体への貸切等も検討したい。</p> <p>切符については、事前の販売を行っていないところであり、停留場には『観光電車』という看板やのぼり旗を掲げているが、買う場所が分からないという意見は、まだまだPRが足りないということの表れだと考えている。</p>

	委員の主な意見・質疑等
3	<p>観光電車については、今どきネット予約というサービスも考えられる。</p> <p>私も学生を連れて乗ってみたいと思うが、行って見ないとどれだけ席が空いているのか分からないという状況で、もし空いて無ければ何時間か待つことにもなりかねないので、確実に乗れるように利用者の立場に立った方法を考えて頂きたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>一日乗車券やラピカでもご乗車いただけるので、そういうことも含めて、広報をもっと充実させていきたい。</p> <p>観光客の方も含めて評判がよく、また、これから観光シーズンにも入っていくので、さらにPRに力を入れていきたいと考えている。</p>
4	<p>県外からたくさんのお客さんが来られるが、皆さん軌道上の緑の芝生に非常に興味を持っておられて、どのような効果があるのだろうかと気になるようだった。例えば緑化することで環境に優しいとか、芝生を植えていなかった時と比べて、メンテナンスの費用が減ったとか、そういうプラス面があったら聞かせていただけないか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>大きな効果としては、一つは、やはり騒音が低下しているということ、もう一つは夏場地面がアスファルトである場合に比べて気温がかなり抑えられているということ、この2点が挙げられる。また、緑化することで景観も良くなっており、昨年併用軌道の緑化が全て完成したが、これは鹿児島市にしかない特異性であり、喜ばれているところである。</p> <p>経費の関係であるが、この事業は、市街地に緑地を増やすため、市の公園緑化課が取り組んだ事業であり、維持管理にもそれなりの費用がかかるところだが、やはり、景観、振動・騒音防止などの面から費用以上の効果があるものと考えている。</p> <p>また、観光面では、鹿児島の売りにもしているもので、直接的ではないかも知れないが、市全体としては、観光資源としての効果もあるという捉え方もできるのではないかと考えている。</p>

(3) 鹿児島市交通事業経営健全化計画の概要

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>交通局のオリジナルグッズを製作、販売しているということだが、どこで売っているのかが今一つ分かりにくいのではないのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>オリジナルグッズについては、平成22年にミニタオルを製作したのを皮切りに、ストラップやボールペンといったようなものを製作したが、これまでは、交通局の乗車券発売所の中のみでの取扱いとなっていた。そのような中、今年度は電車運行100周年ということで、記念のオリジナルグッズを製作・販売することとなったが、せっかく作っているからには、やはり多くの方に購入してもらえる場所が必要だということで、乗車券発売所はもちろん、12月にリニューアルしたホームページからも購入ができる、通信販売のようなものを開始した。また、同時に、観光客も買いやすくなるように、中央駅周辺や天文館周辺のコンビニのサンクスでも販売を開始し、現在では、ホームページ、乗車券発売所、サンクスでそれぞれ販売しているところである。また、合わせてどういったグッズがあるのかを知ってもらうため、小さなパンフレットを制作し、1日乗車券を発売しているホテルなどに設置し、周知に努めているところである。</p>
2	<p>乗客数の推移を見ると、20年度から21年度にかけて市バスの下落率のカーブが大きくなっているようだが、そのあたりはどのように分析し、現状をどのように考えているのか。また、経営の数字に出ている電車は黒字、バスは赤字となっているが、資料の路線案内図を見た時に、当然電車はシンプルだが、バスの方は案内図を見ただけで、どのバスに乗ったらいいのか探す気力も失せてしまう。そのことを十分認識した上でダイヤの見直しをしているとは思いますが、単純に、電車とバスの利用状況の数字を見ただけでも、民間だったら早急に対応を考えるとところだが、そのあたりをどのように考えているか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>電車・バスの乗客数については、その減少要因というのは、交通機関が多様化しているとか、少子高齢化が進んでいるとか、あるいは民間バス事業者の参入等によるものだが、特に鹿児島の場合は、近年、いわさきバス、南国交通、JR九州バスといった民間バス事業者と路線を競合しており、そのような中不採算の路線は公営交通がかなり受け持っている状態であり、市民のニーズに応じて走っている路線を不採算だからという理由で簡単に止められないという面や、他社との価格競争を受け入れられないという面があるため、それは1つの要因かと考えている。</p>

	委員の主な意見・質疑等
	<p>また、景気が低迷している中、通勤客の減少、買い物客の減少、といったものも総体的には響いているのではないかと思う。</p> <p>さらに、郊外型の大型商業施設が増えてきているが、そこには主に自家用車で行くので、なかなか公共交通機関の利用につながらない、一方で、中心市街地も集客力はだんだん弱くなっており、その上、中心市街地に大型の駐車場が備わってくると、どうしても自家用車が使われるようになり、公共交通機関の利用は減ってくる。</p> <p>これらの色々な要因が重なって、今のような状況になってきているのだと考えている。</p> <p>路線案内図については、見やすいものとなるように検討していきたい。</p>

(4) 鹿児島市交通局バス施設建設基本計画について

	委員の主な意見・質疑等
1	<p>バスの施設の配置図を見たが、安全確保という意味から、事務所の位置が本当にここでいいのか、という感じがする。</p> <p>事務所というのは、入口のすぐ目の前にあって、敷地に入ってくる人たちを確認し、また、バスや職員の安全確保をしなければならないが、奥の駐車場はあまりにも奥の方なので、目の届かない面もあるのではないかと思う。</p> <p>バスのUターンなどの問題もあるが、事務所の配置については、給油所と場所を入れ替えるとか、そういう対策がとれないものか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>今回は計画案ということで、皆さまのご意見を踏まえ、来年度から設計に入ることとしている。</p> <p>動線の部分についても、十分に配慮していきたい。</p>